

平成24年度実施 協働事業 中間報告

◆行政提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	応急手当の普及・啓発事業	ひらつか応急手当協力会	消防本部消防救急課

◆市民提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	朗読による平和推進事業	朗読「糸の会」	学校教育部指導室
②	「デジカメとパソコンでできる！ 地域貢献」講座	NPO 法人 ひらつかIT サポート	社会教育部社会教育 課（中央公民館）
③	高麗山公園ハイキングコース等 植生調査事業	湘南の森	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課
④	みんなでつくる花いっぱい の街づくり事業	明日の金田を創る会	経済部農水産課
⑤	市民活動団体の連携強化と活動 拠点の機能強化	ひらつか市民活動連絡協議会	市民部協働推進課
⑥	小学生向け財政パンフレットの作成	ひらつか自治体財政研究会	企画部財政課 学校教育部指導室
⑦	「地域猫」への取り組み	平塚のら猫を減らす会	環境部環境政策課
⑧	一般家庭での生ごみ自家処理 推進事業	ごみを活かす会	環境部資源循環課
⑨	里地里山保全活動による地域環境 再生と共生社会の確立（グランドワ ークの推進）	土屋里地里山再生グループ	環境部環境政策課
⑩	地域防災活動者研修、防災懇談会 及び防災ニュース発行	ひらつか防災まちづくりの会	防災危機管理部 防災危機管理課

平成24年9月
平塚市

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

24年 8月 13日

<p>事業名</p>	<p>応急手当の普及・啓発事業</p> <p style="text-align: right;"> <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 </p>	
<p>団体・担当課</p>	<p>団体名：ひらつか応急手当協力会</p>	<p>担当課：消防救急課</p>
<p>事業を実施して良かった点・成果</p>	<p>平塚市の実施する応急手当の啓発に協力し、安心・安全な町づくりに貢献することができること。 4月から7月までに、40回の応急手当講習会に講師として参加、受講者1,389人。</p>	<p>受講者10人に対し1人の講師が必要であるため、受講者多数の講習会では、消防隊が対応していましたが、災害出動等があるため、講習会を抜ける状況でした。現在は、協力会の人員で対応できるようになった。</p>
<p>事業実施した上で気づいた課題</p>	<p>講習会に参加する会員の調整が大変であるため、会員の協力や増員が必要となる。 協力会に新しく入会した会員の統一した講習技術の向上を図る必要がある。</p>	<p>講習会の申込みが多いことや、1回の講習会の受講者数が多い講習には、講師の人数が不足する場合がありますので、会員数を増やす必要がある。</p>
<p>課題への改善・解決策の協議内容</p>	<p>会員の講習会を開催し技術の統一を図っている。</p>	<p>消防本部で行う普及員講習受講者に協力会への入会をお願いし、会員数の増員を図っている。</p>
<p>事業終了後の具体的な展開</p> <p>※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ） </p> <p>今後とも、双方で実施することにより、講習技術の改正等に対応し、専門的な技術を習得することにより、応急手当の普及に協力する。</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ） </p> <p>新規の受講者はもとより、普通救命講習受講者は2年から3年ごとに改めて受講する必要であるため、継続的に事業を実施し、受講者の増員を図る。</p>
<p>意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）</p>	<p>（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 普通救命講習は現在受講者10人に対し講師1人で対応しているが、応急手当の実施要綱では、受講者5人程度が望ましいとなっていることや、3時間の講習で10人の受講者では、講師に負担となるため、将来的には講師1人に対して受講者5人程度で実施したい。</p>	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

2012年8月27日

<p>事業名</p>	<p>朗読による平和推進事業</p>	<p><input type="checkbox"/>行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/>市民提案型協働事業</p>
<p>団体・担当課</p>	<p>団体名：朗読「糸の会」</p>	<p>担当課：指導室</p>
<p>事業を実施して良かった点・成果</p>	<p>担当課・学校の協力により段取りよく第1公演を行うことができた。生徒に直接朗読したことで、「糸の会の思いが伝わっている」という反応を直に感じ取ることができ、「いのちと平和の尊さ」を語り伝える必要性をさらに強く感じた。ハーブ、シンセサイザーとのコラボは事業の目的を生徒により印象深く伝える手段となった。</p>	<p>「朗読」という手法も子どもたちには身近なものであり、思いが伝わりやすい。そのため、子どもたちに、平和の大切さを伝えることができたと考える。ハーブやシンセサイザーによる演出も、子どもたちの興味を引き、集中して公演を聴くことができる。すでに公演を実施した学校からも好評をいただいた。</p>
<p>事業実施した上で気づいた課題</p>	<p>現在の段階で順調に実施できており、特に課題となるような内容はない。</p>	<p>充実した公演内容にするためには、少なくとも60分程度ほしいという団体からの要望がある。しかし、小学校は1コマ45分、中学校は50分の設定なので、調整が必要となる。</p>
<p>課題への改善・解決策の協議内容</p>	<p>今後、実施をしていく中で課題が出てきた場合は、担当課と相談の上で改善に向けて検討を行っていく。</p>	<p>事前に学校側と話し合いをし、時間設定の調整を行う。また、時間内に充実した内容になるよう、指導室と団体で内容について協議を行っていく。</p>
<p>事業終了後の具体的な展開</p> <p>※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等) や、上記の選択項目の補足をご記入ください。</p>	<p><input type="checkbox"/>双方で実施 (<input type="checkbox"/>提案型 <input type="checkbox"/>提案型以外) <input type="checkbox"/>団体が単独で実施 <input type="checkbox"/>行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/>今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>協働事業としての提案は行わないこととする。また、朗読「糸の会」としては、学校からの要望があれば、公演を行うことはできるので、今後どのような形にしていくなかについては指導室と協議を行っていく。</p>	<p><input type="checkbox"/>双方で実施 (<input type="checkbox"/>提案型 <input type="checkbox"/>提案型以外) <input type="checkbox"/>団体が単独で実施 <input type="checkbox"/>行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/>今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>協働事業としての提案は行わないということなので、来年度以降については、「糸の会」と協議し、方向性を話し合っていく。</p>
<p>意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)</p>	<p>担当課の指導室からの課題としてあげた「公演時間」の課題については、指導室、糸の会、学校の三者で調整を行う。糸の会としては要望として公演時間の延長をお願いするが、最終的に学校の都合や意向に沿って実施していく。</p>	

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年 8月 27日

事業名	「デジカメとパソコンでできる！地域貢献」講座	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：ひらつか IT サポート	担当課：社会教育課（中央公民館）
事業を実施して良かった点・成果	(1) 募集20名枠に39名（南ブロック）と予想以上の申込みがあった。 (2) 参加者20名の内、2名が公民館サークルに加入された。 (3) 地域の拠点である、公民館でニーズに沿った講習会を開催でき、団体として大きな地域貢献ができた。	・多年にわたる団体の地域での活動実績とノウハウを活かし、地域活動などにおける情報発信を視野に入れたプログラムにより、地域貢献をテーマとして新たなねらいで講座を実施することができた。
事業実施した上で気づいた課題	(1) 講習会終了後受講者が「地域活動・貢献活動に参加しやすいようにする支援策が乏しく、十分PR出来ていない。 (2) 講習会場には講師及びアシスタント以外にも見学者が入り、受講者にとっては集中しづらいケースがあったかもしれない。	・初めての事業で各ブロック（計4ブロック）持ち回りにて実施しているので、事業の受付手続きなどに関してブロックごとの担当者間の事務引継ぎが円滑でない点があった。 ・受講者が地域活動や団体活動の中でどう活用したいのかを、具体的に掴みきれていないところがある。 ・講座終了後の学習支援案内が少ない。
課題への改善・解決策の協議内容	(1) 団体と担当課間以外との情報交換の実施、具体的支援策の策定と反映 ・公民館主事との意見交換 ・PR用チラシの作成と配布 (2) 参加者リストの事前提出と共有化及び適切な要員配備	・これまでの事例を含めて事務内容や事務手続きについてまとめ、課題や解決策を加えながら引継ぎを行っていく。 ・受講者の日ごとの活動状況を聞きながら、活用のためのヒントやアドバイスなどを適宜加える（アシスタントの協力を得ながら）。 ・講座終了時に公民館活動サークルや事後のサポートなどについて案内をする。
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ） <hr/> 今年度の結果の反映やその他の案件を含め中央公民館にお願いし、地区公民館やブロックへきめの細かい提案をさせていただきながら、引き続き公民館を中心として地域貢献活動を継続させていただく。	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ） <hr/> 今年度の本事業実施後の状況や結果を踏まえ、地域ごとのニーズや講座内容、今後の事業の持ち方などについて検討する。 講座終了後の継続グループ発足の折には、その活動支援を団体に依頼する。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 協働事業としては継続しないが、対象地域ごとのニーズに合わせて事業内容の設定を考えるなど、次年度以降の事業の展開の仕方について今後協議を図っていく。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年 8月 16日

事業名	高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：湘南の森	担当課：みどり公園・水辺課
事業を実施して良かった点・成果	<p>樹木の一本一本を調査することにより、より詳しいそれぞれの樹木の現況を知ることが出来、今後の事業の進め方についての指針がまとまりつつある。</p> <p>合計144本の主要木のデータベースが出来つつあり、今後これをもとに個々の対応を考えることが可能になると期待される。</p>	<p>高麗山公園内の湘南平付近については、既に植生調査を行い、補植等の措置を行ってきたが、ハイキングコースについては、敷地も広大であり、なかなか意識がまわらなかった現状がある。本事業はこれを補完するものとして、期待できる。</p> <p>現段階では、樹木の調査とそれに基づく各種データの収集が完了している。以降は、これをもとに報告書を策定していく。</p>
事業実施した上で気づいた課題	<p>主要木のうち、傷みが顕著なのはサクラ、それもソメイヨシノと推定され、今後の対策はこれらを中心に行われるべきものと考えられる。</p>	<p>市民団体がやりたいことをやるのが協働事業ではなく、成果品は行政施策としてふさわしいものになる必要がある。</p> <p>今後は、意見交換を密にし、成果品は、行政にとって真に必要なものとなるようにしていきたい。</p>
課題への改善・解決策の協議内容	<p>今後、問題のある樹木への対策を、専門家を招き、検討する段階となるが、報告書に、より具体的な指針を明示できるように、担当課とも密な協議を行ってゆきたい。</p>	<p>具体的な協議は今後になるが、報告書に盛り込んでいく内容をより具体的に例示したり、様式を市の方で整えるなど、必要な誘導を行っていく。</p>
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等) や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<p><input checked="" type="checkbox"/>双方で実施 (<input type="checkbox"/>提案型 <input checked="" type="checkbox"/>提案型以外) <input type="checkbox"/>団体が単独で実施 <input type="checkbox"/>行政が単独で実施 <input type="checkbox"/>今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>今年度の成果を踏まえて、具体的な作業を通じての森の再生に取り組んで行くことを期待しているが、担当課と十分な協議を重ね、それぞれの役割分担を明確にして、多くの市民に喜んでもらえるような森の形成に向けて、協働事業を推進させたい。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>双方で実施 (<input type="checkbox"/>提案型 <input checked="" type="checkbox"/>提案型以外) <input type="checkbox"/>団体が単独で実施 <input type="checkbox"/>行政が単独で実施 <input type="checkbox"/>今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>今年度の提案型協働事業の成果品である報告・提案をもとに、ハイキングコース等の適切な管理を行っていく。</p> <p>これについては、提案型という形態は終了とするが、今後もみどり公園・水辺課と湘南の森の協働事業として継続していくことを希望する。</p>
意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)	(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど)	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年 8月 23日

事業名	みんなで作る花いっぱいの街づくり事業		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：明日の金田を創る会	担当課：農水産課	
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業を実施して4年目になるので、明日の金田を創る会の活動も地域住民に根つき、毎回、約30名が参加するまでになった。 ・事業実施場所が散歩コースになるなど、地域住民に親しまれる場所となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業を実施して4年目となるが、最近、ひらつか花アグリを訪れた人及び地域住民から、古川排水路沿いの花を見るのが楽しみだという声を聴くようになった。 	
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール通りにいかず、ざる菊の里子活動（提案では里親活動）について、地域住民への周知ができなかった為、メンバーの口頭での周知のみとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の事業を中心に、明日の金田を創る会と話をしながら事業を進めていたが、当初予定していたスケジュールから遅れてしまい、スケジュールを変更せざるを得なくなってしまった。 	
課題への改善・解決策の協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ざる菊の里子活動について、今後はスケジュール通りに事業が進むよう、早めに準備を行う。 ・事業については、広く地域住民に周知をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、スケジュール変更がないように、密に明日の金田を創る会と話し合いをし、事業が円滑に進むようにしていく。 	
事業終了後の具体的な展開	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
※下欄 次年度以降の展開 （事業をどのように活かしていくか等） や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案型協働事業としては、今年度で終了する。 ・金田地区をよりよい街へしていくには、何をすればよいのか話し合いを行う。 ・4年間実施してきた事業を、規模を縮小してでも来年度は継続する予定。 ・組織や実施方法は、今後検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案型協働事業としては、今年度で終了する。 ・明日の金田を創る会としては、事業規模を縮小しつつも、継続していくつもりなので、事業実施に関する協力・助言等を引き続き行っていく。 	
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 特になし		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年 8月24日

事業名	市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：ひらつか市民活動連絡協議会	担当課：協働推進課	
事業を実施して良かった点・成果	自分の団体だけではできない地域貢献について話し合い、テーマを決め、推進していくことによって市民活動のパワーを結集でき5テーマで市民活動をサポートできた。また、7月28日に全体会議を実施し、10月のフォーラムに向けた構成案の検討に入っている。	分野別部会ではそれぞれのテーマに沿って活動が進み、団体の連携による成果が得られている。 また、毎月各部会の代表者が集まり進捗状況を確認したり、7月には全体会議を開催したりと、共通の課題などについて協議し、連携する場も出来つつある。	
事業実施した上で気づいた課題	市民活動センターには300団体以上の登録があるが、本来の活動に加えて新たな活動をしてくれる団体はまだ少なく、まちをよくするための市民活動団体として目覚めさせることの困難さを感じている。	部会によっては、取組むテーマが難しかったり、大きいなどの課題もあり、一部のメンバーに大きな負担がかかることもある。団体間の連携による効果を最大限発揮するためには、もっと参加できる人、団体を増やすことも必要。	
課題への改善・解決策の協議内容	地域に役立つ活動をする団体、趣味のみの団体、会議室・コピー機を利用するために登録している団体など、団体の目的も様々で、その特徴に合せた協力・参加の呼びかけも必要。	団体間が連携したことで得られた成果（リーフレット等）を、センターまつりや、10月の市民活動フォーラム、情報誌などで、多くの団体、市民に発信し、参加する人、団体を増やしていく。	
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（必要に応じて連携・協力）	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（必要に応じて連携・協力）	
	分野別部会は、各部会とも自立して運営していける。 活動拠点の機能強化は、利用団体の利用目的によってニーズを分けて考える必要があると思う。	分野別部会は、ファンドの活用などにより自立して継続して実施していける。 25年度の協働事業は休止となるが、活動拠点の機能強化など、市民活動団体の意見集約を団体に期待したい。今後も連携協力していく。	
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） ・協働事業としては休止するが、センター機能の強化や、団体間の連携、各種市民活動団体向けの講座など引き続き連携していく。 ・各部会の活動は継続し、事業費が必要なものはひらつか市民活動ファンドなどを活用していく。		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年8月27日

事業名	小学生向け財政パンフレットの作成	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：ひらつか自治体財政研究会	担当課：財政課、指導室
事業を実施して良かった点・成果	授業で使用された後に先生方からアンケート回答を入手することが難しかったため評価が難しい。	小学生向けの財政パンフレットを作成する中で、財政について広く周知することの必要性を改めて認識できた。
事業実施した上で気づいた課題	パンフレットの見直しなどから、授業に使ってもらいやすい内容に改善し作成する。 担当課と2週間に1回打合せ討論を深める。	各小学校において、独自に授業の年間カリキュラムが決められている。そのため、パンフレットの利用を促すのは難しい。また、各小学校での利用状況を把握するのは困難。
課題への改善・解決策の協議内容	授業で使いやすいよう、イラスト、写真、文章など見直しする。 作成案に、先生の意見を聞く機会を設けるなど、作成手順を改善する。 指導室の先生に検討を依頼(予定)	時間をかけてパンフレットへのニーズ、内容への要望などを調査することにより、より良い成果物の作成ができる。また、より多く利用してもらうことが期待できる。
事業終了後の具体的な展開	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）
※下欄 次年度以降の展開 （事業をどのように活かしていくか等） や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	今後どのような形で取り組むか、今年度のアンケート回答を得た後に検討し、方針を決めたい。 別途、作成したパンフレットを用い、市民向けの勉強会等に活用し、多くの方に財政を知ってもらえる機会を検討したい。	平成24年度の成果物へのアンケート等を基にニーズなどを検討し、必要があれば平成26年度以降に事業として実施することを目指す。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） アンケートなど、先生方の使用結果や感想を調べるのが難しい。 今年度のアンケートの時期や質問内容など、具体的な取り組みは今後検討する。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成24年8月27日

事業名	「地域猫」への取り組み		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：平塚のら猫を減らす会	担当課：環境政策課	
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> 野良猫問題は動物問題ではなく地域の人々の問題という認識が少し広まってきた。 猫問題を抱える地域の市議会議員が具体的な地域の話し合いに関わるようになって、問題がより広域化、加えて情報の共有化が進んできた。 メンバーが20名になったことで、チーム化が出来るようになり、ウンチパトロールや地域への広報活動が進んできた。 行政が積極的に対応しているのので、地域での活動に理解が深まってきた。 	<p>今年度に入り、引き続きいろいろな地域で野良猫のトラブルの事例が挙がっている。その中で、地域住民との話し合いを進める中で、団体が積極的に地域への資料配布や説明などを行ってくれた。行政の立場としては大幅な事務量の負担減となった。これについては、団体が地域猫に関する勉強会などを重ねた結果だと感じている。また、いろいろな地域で地域猫活動を実施しているのので、具体的な事例として取り上げられることができるようになった。</p>	
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> 全市的に見て野良猫問題は緒に就いたばかりで、動物愛護法、まちづくり活動双方の啓発を進めなければならない。 定期的な広報活動の必要を感じている。 猫被害を受ける人が問題を持ち込む方法が浸透していない。地域の人々のトラブルに発展している現状が改善できていない。地域差が依然として残っている。 	<p>地域によって、野良猫に関するトラブルが多様に渡るため、地域猫活動までつなげていく解決方法についても千差万別である。地域住民への周知についても、何度も地域に赴いて説明する必要がある。昨年同様、地域によっても問題意識に温度差があり、話し合いすら実施できない地域も存在するのが現状である。</p>	
課題への改善・解決策の協議内容	<ul style="list-style-type: none"> メンバーを増員し数人グループが問題地域で「地域猫」のジャケットを着用し行動した結果を自治会等に広報することで、地域に問題提起をする。 会員のレベルアップを図る、学習会。地域の行動から学び啓発力を高める。 必要に応じウンチパトロールを実施。猫のフンと周辺の美化清掃で猫被害の軽減を図り地域に合意を得る活動を進めていく。 協働推進課の「協働情報紙ひらつか」地域猫広報紙活用していく。 	<p>特に猫の繁殖時期になると、あちこちで相談が殺到するが、一つ一つ行政や団体ができる範囲で協議を重ねていく必要がある。腰を据えて問題を解決するため、地域住民とどれだけ協議を重ね、解決していくかが必要である。</p>	
事業終了後の具体的な展開	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> 地域猫活動はのら猫をゼロにするのではなく、のら猫被害から起きる人のトラブルゼロを目指すと共に動物愛護法の観点から、人との共生を図っていく。 地域猫を進める事で、住民同士のコミュニティの活性化を図り絆が深まること 		<ul style="list-style-type: none"> 野良猫によるフン害や野良猫への無秩序なエサやりによる住民同士のトラブルの件数は、ほぼ横ばいである。 地域猫活動により、不妊・去勢手術をより徹底し、補助金制度と並行して事業を進めていき、トラブルを減少させていく。

	<p>で「まちづくり」への貢献を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のら猫問題は1年や2年など短い期間で解決できない、長い視点での取り組みが不可欠なため、今後も行政と連携を取りながら事業を進めていくことを求めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫問題が生じたときに現場に行くという対応を市がするようになってまだ日が浅く、市民団体のノウハウを活用すればとても効率的である。今後も団体と協力して事業を進めていきたいと考えている。 ・野良猫のトラブルの解決については、不妊去勢手術の実施、野良猫の寿命、地域の理解等を考慮すると、年単位という長いスパンが必要である。今後も市民団体と連携を取りながら取り組む必要があると考える。
<p>意見交換の内容・ その他気付いた点 (双方合同で記入)</p>	<p>(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様、想定通りに進んでいないという印象がある。原因として、自治会長の積極性や地域性の違いがあること、地域によっては問題が生じているところが自治会内のほんの一部で、自治会全体で取り上げるほどではないという認識をされてしまうことである。 ・行政と団体が協力して、一つでも多く現場に行き、行政と団体と地域の3者のつながりを深めていくかが重要であると考えている。 ・たかが野良猫であるが、好きと嫌いと無関心の人が、地域の困りごとを自分の利害中心で考え、問題を共有して地域が協力する姿勢が薄い地域もある。平常時から地域住民相互で力を合わせておけば、災害時などの非常時に混乱をきたさなくても済むのではないか。 	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成 24 年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成 24 年 8 月 22 日

事業名	一般家庭での生ごみ自家処理推進事業	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：ごみを活かす会	担当課：資源循環課
事業を実施して良かった点・成果	<p>各回の実技講習に必ず実演を行ったことで、内容が具体的でわかりやすくなった。また、少数ではあるが毎回、実践者を登録し、ステッカーを配布できている。</p>	<p>受講者は生活様式に沿った生ごみの自家処理方法を選択・受講が可能になったため、目的意識が明確化した講座となっている。また、昨年度の講座を踏まえ、日曜日も講座を実施しているため、受講者が増加している。</p>
事業実施した上で気づいた課題	<p>・市の施設見学の参加者が非常に少なかった。自分のごみ処理を考えるために、市のごみ処理状況を理解することも必要だと考えたが、より身近で、実践的な処理の方に関心が向いているようだ。</p> <p>・参加者が自分に合った方法を見つけるには、講師の方法に加えて、色々なケースについて広く紹介できることも必要。</p>	<p>昨年度に引き続き施設見学を実施したが、受講者は少なかった。アンケート結果においても家庭内における生ごみの自家処理方法に興味を持つ方が多い。</p>
課題への改善・解決策の協議内容	<p>・施設見学、講演会などは除外し、「生ごみ処理」の普及にのみ重点を置いた方がよい。</p> <p>・会と相談員を中心に各地域で、簡単な方法だけを選び、一回で終了するように集中的に実施する。</p>	<p>講座は生ごみの自家処理方法に内容を精選化する。団体と「生ごみ処理相談員（協働事業で一部育成）」が協力かつステップアップしながら、地域の特性にあわせ、適宜講座を実施するようにする。行政は側面的な支援をする。</p>
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等)や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<p><input type="checkbox"/>双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/>提案型 <input type="checkbox"/>提案型以外)</p> <p><input type="checkbox"/>団体が単独で実施</p> <p><input type="checkbox"/>行政が単独で実施</p> <p><input type="checkbox"/>今年度で休止または終了</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p> <hr/> <p>相談員のレベルアップを図るとともに、行政、自治会、ごみ減量婦人の会などの協力を得て、活動しやすい環境を整える。</p>	<p><input type="checkbox"/>双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/>提案型 <input type="checkbox"/>提案型以外)</p> <p><input type="checkbox"/>団体が単独で実施</p> <p><input type="checkbox"/>行政が単独で実施</p> <p><input type="checkbox"/>今年度で休止または終了</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p> <hr/> <p>団体又は行政が市民から生ごみの自家処理に関する講座等の要望を受けた場合にも、適宜対応が可能な体制を整える。</p>
意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)	<p>(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど)</p> <p>・ごみを活かす会としてホームページを立ち上げ、市のホームページとリンクする。ごみを活かす方法の具体的な疑問について、ホームページで答えられるようにし、方法ごとの問い合わせ先も分かるようにする。</p> <p>・市役所ロビーに「生ごみ処理相談会」を月一回程度解説し、市民の相談にこたえられるようにする。</p>	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

24年 8月28日

事業名	里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立（グラウンドワークの推進）		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：土屋里地里山再生グループ	担当課：環境政策課	
事業を実施して良かった点・成果	ブルーベリーを活かしたイベント等を開催し、里山を知ってもらいきっかけづくりができた。ブルーベリーの果実に関しては生食以外にも様々な形で今後活かしていく提案が出ている。	ブルーベリーの植樹会でも市民が里山を知るきっかけとなり、自然に触れ合っていると感じることができた。その他のイベントについても多くの市民が参加し、市民の憩いの場所になっている。	
事業実施した上で気づいた課題	機械の導入が難しい土地であるため、農地の利活用を行なう際に人力に頼らざるをえず、拡大策を考えるとときに効率の面などで問題が出てくる可能性がある。	以前農道だった場所について、現在壊れてしまい、農道としての利用が難しくなっている箇所がある。	
課題への改善・解決策の協議内容	農地の利活用を進める上でも、農道の整備が大切であると考えている。団体のみで壊れた農道を補修するのは難しいため、行政にも協力をお願いしたい。	農道の整備については、関係各課などと協議し、対策を検討していきたい。	
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ） 引き続きブルーベリーの植栽を進める予定の平成25年度の協働事業をもって、3年間の協働事業は終了となる。ただし、市としても里地里山の再生と保全は重要な課題であるため、今後も団体と協力して、イベントの開催等を進めていきたい。	
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 平成25年度で協働事業は終了となるが、植樹したブルーベリーについては3～4年後に収穫可能となり、本格的に収穫体験等に利用できるようになると考えられる。その収穫体験等も含め、ブルーベリーや23年度に整備された駐車場等は、市民に対して里山をPRしていくために非常に有用であるため、協働事業満了後もこれらを活用し、市と団体が協力してイベント等を開催していきたい。		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成24年度 協働事業 中間ヒアリング調書

24年 8月27日

事業名	地域防災活動者育成研修、防災懇談会及び防災ニュース発行	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
-----	-----------------------------	---

団体・担当課	団体名：ひらつか防災まちづくりの会	担当課：防災危機管理課
事業を実施して良かった点・成果	地域防災活動者育成研修(初級)第1回は「被災地に学ぶ～遠野市の後方支援活動」として遠野市長に講演していただいた。遠地からの講師招聘は当会が希望を出し危機管理課の準備で実現。参加者からの感想も概ね好評だった。防災懇談会第1回目は「集合住宅の自主防災」をテーマとして情報を共有した。12月には引き続き掘り下げて同テーマで懇談会2回目を実施する予定。	地域防災活動者育成研修に際し、災害発生にあたって日頃からどういったことを考えておいたらよいのか、東日本大震災の被災地の後方支援を実際に行った首長の講話や、より具体的な手法(災害対応カードゲーム)の紹介をすることにより、地域防災を考えるきっかけづくりをすることができた。
事業実施した上で気づいた課題	自主防災会のレベルがほとんど取組めていないところからかなり取り組んでいるところまで幅広くあり、今後も継続して自主防災会の悩みを聞いて課題解決に取り組んでいく必要がある。今年度の協働事業後も自主防災会のレベル向上に役立つ相談機関等の充実を市とともに考えらえるといい。	現在の地域防災活動者育成研修は、各自治会から義務的に受講者を選出してもらっており、中には毎年同じ受講者となる自治会もあることや、地域での防災活動がなかなか活発化していない現状があり、研修の持ち方に課題があると感じた。
課題への改善・解決策の協議内容	自助・共助・公助のうち自助・共助が進むよう市民活動団体が手助けしていくことで「防災のまち・平塚」が実現していくと考えられる。各地域の防災活動が継続して進歩して行くようビジョンある防災フォーラムや防災WS、まち歩き、防災懇談会等、さまざまな有効な取り組みを公助の市も立場や視点が違って問題点を市民活動団体とすり合わせ、協議を大切にすることでお互いに協力し合って進めていくことが望まれる。	団体から提案の企画内容の完成度・運営面での実務を進める上での協議が団体と事業担当者間で十分に持てない中で課題を解決しながら事業を継続実施することは困難であり、来年度は市の主催する事業等への協力を団体にお願いしたい。
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開(事業をどのように活かしていくか等)や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 双方で実施 (<input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 双方で実施 (<input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 ()
	地域防災活動者研修については、行政が実効性を含めて再検討するとのことで協働事業は中止とする。地域防災力向上の手助けとして防災ニュースの発行及び防災懇談会は会独自(資料有料化も検討)で行っていく。	東日本大震災後の多くの住民の危機感の中、実効性のある研修・訓練等のありかたについて事業担当課で十分計画を見直し、実施していきたい。

<p>意見交換の内容・ その他気付いた点 (双方合同で記入)</p>	<p>(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど)</p> <p>協働事業を実施する上で団体・行政の視点、事業の進め方・組織のあり方の違い等があるが、事業やプロジェクトの目的をしっかりと共有してすすめる。団体の意見は一つにまとめた上で行政と協議する。</p> <p>研修や懇談会に市民が参加することが防災の取組みへのきっかけとなり、地域に持ち帰って学んだことを実践していただけるよう団体・行政の双方で力を尽くしたい。</p>
--	--

※現段階で可能な項目のみ記入してください。